

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

連合山梨の
取り組み

福島復興支援研修 ～被災地を「見て・感じて・行動する」活動を継続しよう～

連合山梨は、昨年に引き続き山梨労福協との共催で「被災地支援・役員研修」を8月23日から25日で実施しました。研修には執行委員会メンバーと労福協加盟組織から27名が参加。今回は、原発事故や風評被害により復興が遅れている福島県の現状視察と経済的支援を目的に実施しました。

1日目は、二本松市の「NPO法人ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会」を訪問しました。この法人は、震災前から過疎化対策として定住促進や有機農業と6次産業による特産品加工・販売を取り組み街の活性化を推進しています。そして震災後は、風評被害の払拭をめざし、「里山再生・災害復興プログラム」



大野理事長（右）に
カンパ金を手交

を策定、自ら田畑や農産物の放射能測定を行い、ありのままを情報公開する中で安全性の確認とPRに取り組んでいました。説明の中で『政府や東電に対し、不満や愚痴ばかりの態度では一步も前に進まない。自分たちの意思で、自らの地域の未来を想像し、いま何をなすべきかを考え、行動することが大切です』との言葉には復興にむけた固い決意と意思の高さを感じ、感動をおぼえました。また、実際に放射能測定器を使い、周辺の草むらや水路の測定を体験するとともに、福島県で収穫された野菜や果物を使用した昼食を美味しくいただきました。連合山梨は訪問にあたり、復興支援チャリティーミュージカルやメーデーで頂戴したカンパ金を、神宮寺会長から大野理事長へ手交しました。復興・再生にむけ真正面から取



り組みを進めているひたむきな姿に触れることができました。

2日目・3日目は経済的支援として、福島交通バスの案内で、吾妻小富士・会津酒造・鶴ヶ城・八重の桜ドラマ館などを散策・見学し、行先々でのお土産購入と飲食を楽しみました。

震災から2年、バスから時折見える仮設住宅を目にすると、まだまだ普通の生活ができていない仲間がいることを実感。今後も「見て・感じて・行動する」取り組みを継続していくことを誓い合い帰路につきました。（連合山梨・中澤事務局長筆）

以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp